



平成31年度予算（案）  
主要な施策項目

奈良市

## 安全・安心な暮らしの実現

- 地震や集中豪雨、異常な猛暑など自然災害が相次いでおり、市民の命と財産を最優先で守ります。
- 子どもや高齢者等を狙う犯罪を未然に防ぎ、日々の暮らしの安全を守ります。
- 公共施設やインフラの老朽化対策と福祉の充実を進め、全ての市民の安心を守ります。
- 子育ての不安を解消し、子育て支援を充実するとともに、虐待や不登校など様々な環境に置かれた子どもの安全を守ります。

| 事業名                               | H31年度<br>予算(案) | H30年度<br>予算 |
|-----------------------------------|----------------|-------------|
| (仮)子どもセンター建設事業                    | 75,000         | —           |
| 防犯カメラの設置                          | 22,254         | 22,190      |
| 登下校見守りシステムの運用                     | 3,670          | —           |
| 公共施設等の老朽化対策<br>なら100年会館エントランス防水工事 | 91,700         | —           |
| 中央第二体育館屋根改修                       | 40,000         | —           |
| バンビーホームの増改築                       | 402,500        | 296,400     |
| 道路橋梁維持補修                          | 774,000        | 716,000     |
| デジタル同報系防災行政無線設備設計                 | 10,000         | —           |
| 防災士養成研修の実施                        | 3,714          | —           |

## まちづくりの推進

- 人口減少の克服に向け、交流人口の増加と持続的な発展に向けた成長戦略を推進するため、古都奈良の玄関口として、交通結節点を中心とした都市基盤整備を進めます。
- 県や民間との連携をはじめとして、まちづくりに新たな発想を取り入れながら、これまでの課題とともに一歩先の課題の解決を図ります。
- 20年後、30年後の未来を見据えて、暮らしやすく魅力ある奈良のまちの姿を描き形作っていきます。

| 事業名   | H31年度<br>予算(案)                      | H30年度<br>予算                     |
|---|-------------------------------------|---------------------------------|
| 大和西大寺駅周辺整備<br>南北自由通路整備事業<br>北口駅前広場整備事業<br>土地区画整理事業(駅南側) | 2,257,381<br>2,338,924<br>1,124,295 | 2,193,000<br>953,300<br>813,800 |
| 大和中央道(敷島工区)整備事業   | 372,000                             | 222,000                         |
| まちづくり基本計画策定(八条・大安寺周辺地区)                                 | 12,000                              | 15,000                          |
| 新斎苑整備事業   | 1,820,923                           | 1,100,000                       |
| クリーンセンター建設計画の推進   | 25,000                              | 14,000                          |

## 行政サービスの効率化

- ワークライフバランスの実践とともに育児・介護などの様々な事情と業務の両立を実現するための働き方改革の推進を図り、業務の効率化を進め生産性を高めます。
- 厳しい財政状況と限られた経営資源のもとで、社会経済情勢に応じた柔軟な対応と市民目線に立ったきめ細かな改善を進め、市民の暮らしに直結するサービスの質の向上を進めます。

| 事業名                   | H31年度<br>予算(案) | H30年度<br>予算 |
|-----------------------|----------------|-------------|
| ICTを活用した住民窓口改善システムの導入 | 12,848         | —           |
| 持込ごみインターネット受付システムの導入  | 1,298          | —           |
| RPA導入による業務効率化         | 16,000         | —           |
| 家庭系ごみ収集運搬業務委託事業者の選定   | 244            | —           |

※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは、PCを使った人手による定型作業を自動化する技術。

## ○(仮)子どもセンター建設事業(基本設計・実施設計等) 75,000千円(新規)

### 目的

全ての子どもが今を幸せに生き、夢と希望を持って成長することができるまちづくりを目指す

(仮)子どもセンター設置により、子どもや子育て家庭への総合的な支援の展開を目指す。(子育て相談課)

### (仮)奈良市子どもセンター

2021年度 開所予定

#### ①地域子育て支援センター

○子ども(概ね0~3歳)とその保護者の遊びや交流の場を提供する。

○子育てに関する相談窓口になるとともに、様々な育児情報を提供する。



#### ③子ども家庭総合支援拠点

○市民に身近な相談窓口として、子育てに関する相談が気軽にできる。

○こんにちは赤ちゃん訪問や、助産制度・ショートステイ事業等により、様々な子育てニーズに対応する。



### 連携

#### ②子ども発達センター

○就学前の子どもの発達に関する相談ができる。

○療育が必要な子どもに対する指導・訓練を行う。



#### ④児童相談所・一時保護所

○専門職を配置し、専門的な診断をもとに相談や援助を行う。

○様々な理由によって家庭で暮らせなくなった子どもの安全を確保するとともに、施設や里親へ養育を委託する。



### (1)早期からの支援

保健所での出産・育児に関する相談や、保育所・幼稚園、学校等における子育てに関する助言・情報提供等により、それらの機関と連携し早期からの子育て支援や虐待予防を切れ目なく行うことができる。

### (2)行政と地域との連携

子どもや家庭への支援の拠点を整備することで、「支援のはざま」に落ちることなく、行政機関や関係機関・団体等が連携し、子どもや家庭を支援することができる。

### (3)迅速かつ臨機応変な対応

様々な理由によって子どもが家庭で暮らせなくなった場合、迅速な対応・専門的な支援により、子どもの安全を守ることができる。

## 目的 全ての市民の安全を確保し、安心して暮らせる地域社会を実現する

### ○防犯カメラの設置 22,254千円(継続)

(危機管理課)

▶街頭犯罪の未然防止と犯罪発生時の迅速な対応等を確保するため、犯罪発生率の高い駅周辺(約500m圏内)を中心に防犯カメラを設置した。また、奈良警察署及び奈良西警察署と協定を締結し、犯罪発生時に捜査協力ができる体制を構築した。

▶平成31年度は、市内の交通の要衝となる交差点、市内小中学校の通学路等の犯罪抑止に効果的な場所に設置予定。

(H28:47台、H29:60台、H30:100台予定、H31:100台予定)

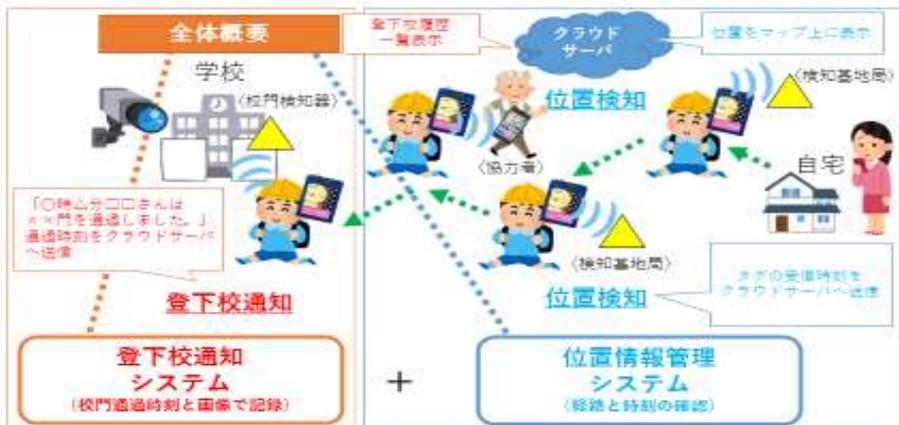
### ○登下校見守りシステムの運用

#### 3,670千円(拡充)

(いじめ防止生徒指導課)

▶地域での見守り活動における後継者不足や高齢化などの課題に対して、「人の垣根」による見守り活動を補完するものとして、ICTを活用した登下校見守りシステムを効果的に運用する。

▶また、モデル校において児童の通学路上の詳細な位置情報が検知され、保護者がその情報を確認できるシステムの活用を図る。



### ☆防犯カメラ設置に伴う効果(H30.1~H30.10)

・警察からの要望による画像提供件数…… 61件  
うち、事件解決等の手がかりになった件数…… 55件

⇒提供画像の約90%が事件解決等の手がかりに

#### ※解決事例(市内 H30.1~H30.10 一部抜粋)

| 事件発生年月 | 事件発生時刻   | 事件内容    | 検挙日   | 防犯カメラ画像による効果    |
|--------|----------|---------|-------|-----------------|
| H30.5  | AM4:00頃  | ひき逃げ    | 事件同日  | 逃走した自動車の車種等特定   |
| H30.5  | AM10:00頃 | 連続窃盗すり  | 約2週間後 | 犯行後の被疑者を特定      |
| H30.10 | PM10:00頃 | 窃盗ひったくり | 事件翌日  | 犯行前の被疑者及び自転車を特定 |

⇒画像提供により事件解決がスピーディに



(出典)奈良県警察本部 犯罪発生状況ホームページ公開データ

**目的** 公共施設やインフラ等の老朽化対策を進め、安全・安心なまちづくりを進める

## ○公共施設等の老朽化対策(継続)

### なら100年会館エントランス防水工事

91,700千円 (文化振興課)

### 中央第二体育館屋根改修

40,000千円 (スポーツ振興課)

▶なら100年会館のエントランスや中央第二体育館は、施設の老朽化により雨漏りが発生し利用に支障が生じているため、改修工事を行う。

○なら100年会館エントランス雨漏りの様子



○平成29年度に改築した佐保台バンビーホーム

### バンビーホームの増改築 402,500千円

(地域教育課)

▶狭隘化、また老朽化しているバンビーホーム(6施設)の増築・改築を行い、入所児童の安全・安心を確保する。  
(六条、三碓、飛鳥、大宮、大安寺西、朱雀)

## ○道路橋梁維持補修

774,000千円(継続)

(道路維持課)

▶生活道路について、維持補修を着実に実施し、市民が安全に安心して利用できるよう、道路の機能を確保する。

▶特に老朽化による穴ぼこなどは事故の危険性もあり、路面舗装、区画線、側溝や橋梁の補修・大規模改修などあらゆる道路関連維持補修を徹底的に遂行し、安全・安心な道路環境の維持を目指す。

道路橋梁維持補修経費 (一般会計当初予算額)



## 目的

地震や大雨などの災害から市民の命と財産を最優先で守る

### ○デジタル同報系防災行政無線設備設計

**10,000千円(新規)**

(危機管理課)

- ▶本市では平成27年度からデジタル同報系防災行政無線の運用を開始したが、「聞こえない」あるいは「聞こえにくい」区域も多く存在する。
- ▶そのため、平成30年度の調査結果をもとに、平成31年度は実施計画の立案を行い、未整備地域における防災行政無線の屋外拡声子局を整備するための設計を実施する。

○災害発生時に、一次避難所等に設置したスピーカーにより、災害情報や避難情報等を一齐に音声伝達。



### ○防災士養成研修の実施

**3,714千円(新規)**

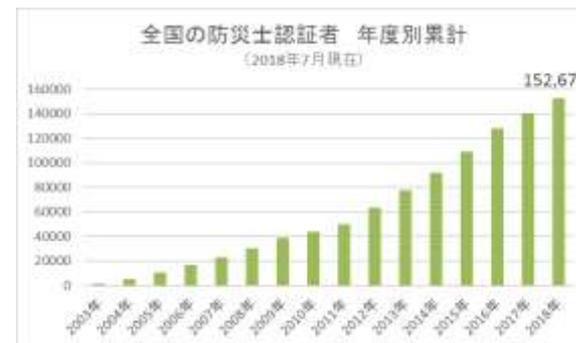
(危機管理課)

- ▶災害の発生時には、市職員は市民の生命や財産を守るため適切かつ迅速な活動を行うことが求められる。そのため、防災に関する一定の知識・技能を習得できる防災士資格の取得を目的とした研修を行う。

※防災士とは、自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人。

○阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊や家具の転倒の下敷きとなった人々の8割を家族や近隣住民が救助した。地域の防災力の担い手となる防災士は、その教訓から生まれた。

災害時における防災士の活動の様子



(出典)日本防災士機構パンフレット

## 目的

奈良の玄関口としてふさわしいまちづくりを進め、国内外に魅力を発信する

## ○大和西大寺駅周辺整備(継続)

(西大寺駅周辺整備事務所)

▶大和西大寺駅は鉄道の重要な結節点であり乗降人数が多いにもかかわらず北側の駅前広場は狭く機能面においても不十分である。また、駅周辺の交通量も多く歩行者等が車両と交錯し通行の支障となるなど不便な状態であるため、駅の南北を高架でつなぐ歩行者専用道を整備することで安全性を高め、快適な通行を確保する。

### 南北自由通路整備事業 2, 257, 381千円

▶駅の南北に階段を2ヶ所、エレベーターとエスカレーターを各1基ずつ設置。自転車の通行(乗車は不可)もエレベーターを介して可能。

### 北口駅前広場整備事業 2, 338, 924千円

▶現在の規模を拡大するとともにすでに整備されている西大寺一条線を直結させ、機能的なターミナルへと生まれ変わる。

### 土地区画整理事業(駅南側) 1, 124, 295千円

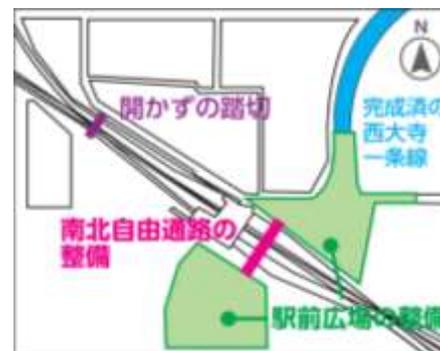
▶進捗率(面積ベース)は、平成30年度末で約97%である。南口駅前広場については、大型の観光バスが乗り入れることができるターミナルを設置する。

○大和西大寺駅周辺完成イメージ図。

南北自由通路(外観)



南北自由通路(内観)



駅南側



駅北側



(前頁から続き)

## ○大和中央道(敷島工区)整備事業

**372,000千円(継続)**

(道路建設課)

▶都市計画道路大和中央道(敷島工区)は、北は秋篠町の旧奈良工業高校東側から、南は西大寺赤田町二丁目の県道谷田奈良線までの延長831m。平成30年度末の用地取得率は、約96%であり、部分的に工事を実施している。

▶周辺道路は、歩道が未整備で車道も狭小であり、整備により歩行者・自転車等の安全確保を図る。

▶今後も引き続いて用地取得を進めるとともに、整備工事の進捗を図り、早期の供用開始を目指す。



## ○まちづくり基本計画策定(八条・大安寺周辺地区)

**12,000千円(継続)**

(都市計画課)

▶県・市・鉄道事業者で検討を深め、専門家や民間事業者等の意見を聞きながら、駅周辺の土地利用の方向性を含む同地区の基本計画を策定する。

▶JR新駅は、関西本線高架化事業にあわせ、平成36年度末の完成を県・市・JRで目指している。また、京奈和自動車道の一部である大和北道路のうち、奈良北IC~奈良IC間が平成30年度に事業化された。鉄道駅・ICによる交通結節点機能を生かした新たな奈良の南の玄関口を創出する。



## ○新斎苑整備事業

1, 820, 923千円(継続)

### 目的

長年の課題解決に向けて、市民とともにまちづくりに取り組む

(新斎苑建設推進課)

▶現在の火葬場(東山霊苑火葬場)は大正5年に開設され、その後100年間にわたって、数度の大規模な改修工事を行いながら多くの方々の最後のお別れの場として役割を果たしてきた。

▶しかし、現在の施設は老朽化が激しく、今後予想される高齢化に伴う火葬件数の増加に対して、近年の技術革新に伴う環境面への負荷の軽減等を考慮すると、旧タイプの施設の改修だけでは限界があり、十分に応えられないため、市民ニーズに対応でき、周辺環境との調和や機能性と安全性を重視した火葬施設を建設する。新斎苑の建設は本市にとっての最重要課題であり、早期建設を目指す。

▶現状としては、平成30年3月に事業契約を締結し、事前調査の上、土木工事を進めるとともに建物の設計業務を行っている。一方で、地元周辺自治会役員等の方々に工事工程等の説明を重ね理解を深めてもらうとともに、自治会への地域活性化対策についての協議にも努めた。平成31年度は引き続き整備工事を実施していくとともに上水道施設の設計等を行う。

人生終焉の儀式的場にふさわしい、安らぎのある  
新斎苑の早期供用開始を目指す。

※イメージ写真(新斎苑をイメージしたものであり、変更になる場合があります。)



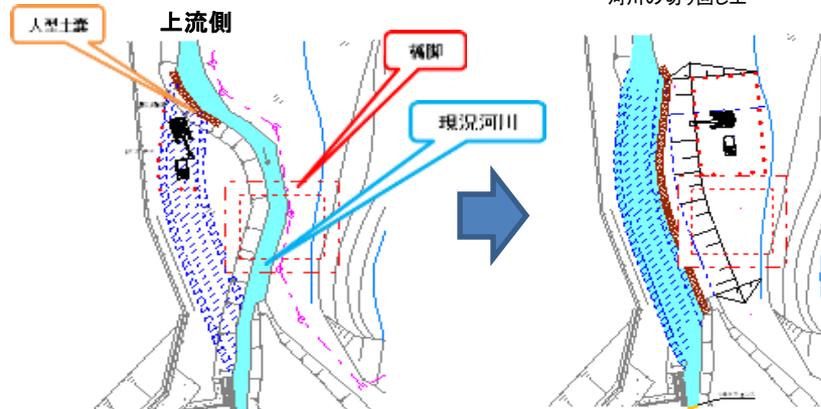
### ○現在の工事施工状況

#### ・橋梁工事に伴う仮設工事 ～河川切り回し工～

岩井川の現況河川位置に橋脚を構造するため、河川を切り替えます。  
(※河川の形状は切替後のほうが良好)



河川の切り回し工

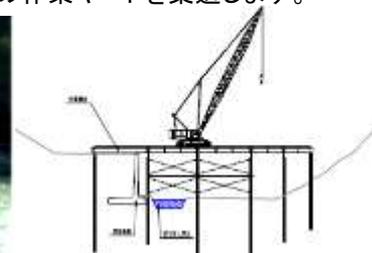


#### ～作業構台築造工～

橋脚の築造及び上部工を架設するための作業ヤードを築造します。



※イメージ写真(本施工箇所(岩井川)の写真ではありません。)



作業構台イメージ図

## ○クリーンセンター建設計画の推進

25,000千円(継続)

### 目的

様々な手法で、これまでの課題とともに一步先の課題の解決を図る

(クリーンセンター建設推進課)

▶奈良県においては、ごみ処理施設の大半が小規模かつ老朽化しているとともに、施設当たりの人口規模(処理量)が全国最小(平成28年度実績値)であることから、施設の広域・統合整備による「ごみ共同処理(広域化)」の促進が喫緊の課題となっている。

▶このことから、県は広域化の取組を促進するため、平成28年度から「奈良モデル」補助金制度を創設し、財政的支援を行っている。現在、奈良県内において3つの一部事務組合と1つの協議会が設立され、広域化に向けた取組が進められている。

▶本市としても、有力な選択肢である県北部地域でのごみ処理広域化を軸に、建設候補地の絞り込み及び施設整備等の調査・検証を行い早期の事業推進を図る。



(出典) 奈良県北部地域におけるごみ処理広域化に関する5市町合同勉強会 中間報告書 H30.12.25発行



塗装が傷み、錆が流れる焼却炉



壁がはがれ、鉄筋がむき出しに

○現在の焼却炉は建設から30年以上が経過し、老朽化が進んでいる。それに伴い、ごみ処理能力が低下している。

○平成11年度から現在の分別方法を導入したことで、ごみの総搬入量は平成10年度をピークに減少。

奈良市のごみ総搬入量の推移と一人当たりのごみ量



## 目的

新たな取組により、市民の負担軽減、利便性の向上と業務縮減の両立を目指す

### ○ ICTを活用した住民窓口改善システムの導入 12,848千円(新規)

(市民課)

▶引越しに際して、市役所の複数の窓口で個別に住所変更情報を届け出る必要があり、何度も同じ項目を記入し手続きを行う必要がある。市民の負担を軽減する取組として、必要な手続きをサポートする仕組みの構築に向け、段階的に取り組む。

▶まずは、実証実験として、効果的な仕組みや運用手法を検証し、他の手続きへの横展開に向けた手法の検討を行う。

▶具体的な取組として、マイナンバーカードによる転入転出届の手続きをされる方及びスマートフォンにより事前に申請書を作成した方の専用窓口「(仮称)ICT専用窓口」を設置する。また、転入転出届等に伴う必要な手続き書類を一括で作成する。

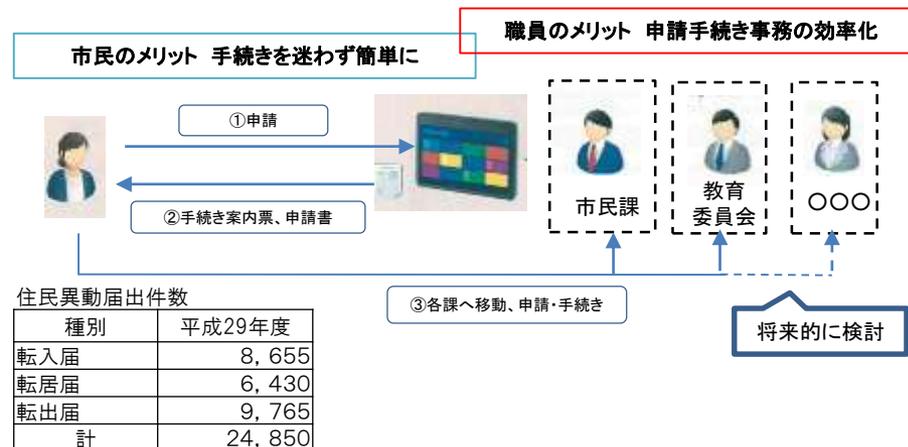
#### さらに

▶(仮称)「お悔みコーナー」を設置し、遺族が必要な手続きを一括で行えるようお手伝いをする。実際の手続き申請等は遺族が行うが、手続き内容によってはワンストップで完結できることを目指す。

### ○持込ごみインターネット受付システムの導入 1,298千円(新規)

(まち美化推進課)

▶現在、環境清美工場への持込ごみの予約は電話申請のみで、予約受付が混雑し、市民の需要に十分対応しきれない現状を改善するため、電話受付に加えて、インターネットによる申込受付を開始することで、市民の利便性向上を図るとともに、運用コストの縮減を図る。



現在 電話受付 月～金 8時から15時  
※休日明けや午前中は申込が集中し、電話が繋がりにくくなることがある。



平成31年10月(予定)～ インターネットによる24時間受付

## ORPA導入による業務効率化

16,000千円(新規)

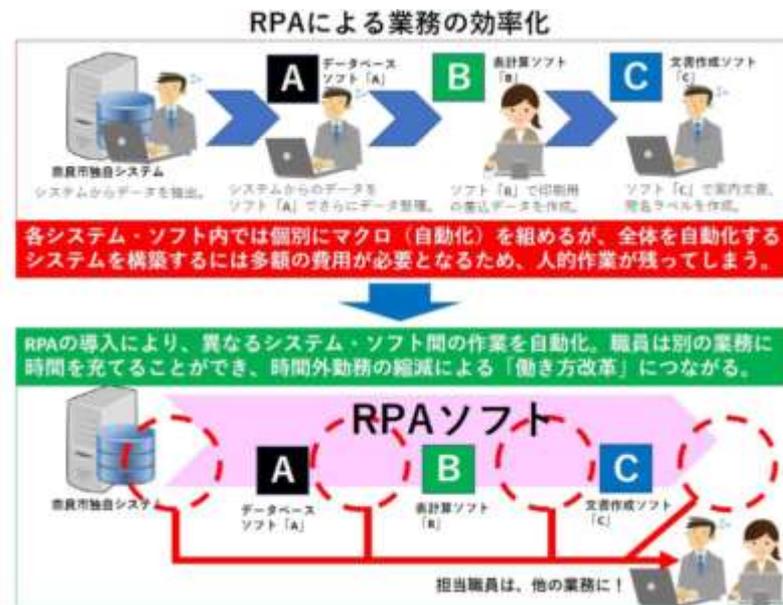
**目的** 時間外勤務縮減などの働き方改革や職員数の適正化に向け、業務の効率化を進める

(行政経営課)

▶本市では、時間外勤務縮減などの働き方改革や、「よりコンパクトな市役所」実現に向けて業務の効率化(生産性の向上)を進めており、時間外勤務の縮減状況は、本格的な縮減の取組を開始する前の平成23年度と比較すると、平成29年度の時間外勤務総時間はおよそ60%にまで縮減するに至った。

▶平成30年5、6月にサンプル業務に対してRPA適用による業務効率化の効果検証を民間事業者との共同で実施し、概ね70%程度の業務効率化の実現可能性を確認した。

▶定型的なパソコン作業を自動化する「RPA」を活用し、まずは、多様な勤務形態に応じた勤怠管理等の人事関連業務や市民サービスに係るシステム入力業務等9業務について効果検証と同水準の効果を見込むとともに、今後、業務効率化の一つのツールとしてRPAを展開し、職員がより付加価値の高い業務(市民サービス向上、相談、企画等)にシフトできる体制を整える。



## ○家庭系ごみ収集運搬業務委託事業者の選定

244千円(新規)

### 目的

一般事業者の市場参入を視野に入れた競争環境の整備を行う

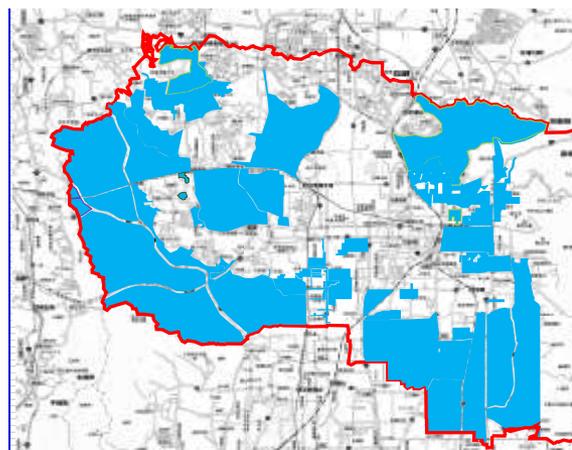
(環境政策課)

▶ごみ関連業務の安定的かつ継続的な実施に向けて、家庭系ごみ収集運搬業務の委託先を株式会社奈良市清美公社に限定することなく、他の民間事業者へも民間委託を拡大する。

▶「奈良市行財政改革重点取組項目」(平成27年10月策定)に掲げられている「ごみ関連業務の段階的な民間委託の拡大」に基づき、民間委託化を進めた結果、委託率は平成29年度で56%(世帯数ベース)に達した。

▶現在の委託先は、清美公社のみであるため、他の民間事業者にも委託を拡大していく必要がある。そのため、平成31年度に「総合評価落札方式」による一般競争入札を実施し、単に価格競争によることなく、業務の質も担保した上で委託先を決定する。その後、平成32年度から家庭系ごみ収集運搬業務の民間委託を開始する。

### 【現在の委託区域】



### 【実施スケジュール(案)】

平成30年度  
入札準備、条例改正、規則制定

平成31年度  
(1)入札実施 (2)契約締結  
(3)事業者による業務準備

平成32年度  
委託業務開始

### 【ごみ収集業務委託率の推移】

